

お知らせ

令和4年1月21日

お客さま各位

越前信用金庫
理事長 松田 浩次

信金中央金庫 創立70周年事業 地域創生推進スキーム「SCB ふるさと応援団」の活用による大野市への寄附金贈呈について

越前信用金庫は、信金中央金庫が創立70周年記念事業として実施する地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」の対象事業募集にあたり、大野市の『「健幸（けんこう）で自分らしく暮らせるまち」を目指して！歩くことから始める健康づくりプロジェクト』を推薦したところ、この度、同事業が採択され、信金中央金庫より寄附金1,000万円が大野市に贈呈されました。

当金庫は、今後も地域金融機関として地方公共団体との連携を強化し、地域創生に向けた取り組みを加速させ、地域経済の活性化に努めてまいります。

【「SCBふるさと応援団」とは】

信用金庫の中央金融機関である信金中央金庫が、SDGs（持続可能な開発目標）を踏まえ、「企業版ふるさと納税」を活用した寄附を行うことにより、地域の課題解決および持続可能な社会の実現に資する地域創生事業について、地域の信用金庫とともに応援し、地域経済社会の発展に貢献することを目的とした事業です。

寄附対象事業は、原則として信用金庫の本店所在地の地公体が行う地域創生事業であり、公募により募集し、信用金庫からの推薦を受け、信金中央金庫の審査を経て採択された場合に、上限1,000万円が寄附されるものです。

【大野市の地域創生事業について】

「歩くこと」「健康を維持すること」「まちづくりに参加すること」でポイントを付与し、ポイントに応じて商品券等と交換する仕組みを構築した「おおのヘルスウォーキングプログラム」を実施することにより、地域住民の健康を促進し、そして活力あるまちづくりに結び付け、町の活性化に繋げる取り組みです。



【大野市役所での贈呈式の様子】



左から信金中央金庫北陸支店【岸支店長】、大野市長【石山市長】、当庫【松田理事長】

以上